

海浜の自然環境を守る会ニュース

第58号 2019年3月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

国指定浜甲子園鳥獣保護区保全事業

国指定浜甲子園鳥獣保護区は、シギ・チドリの渡りの中継地、カモ類の越冬地として重要な役割を果たしているとともに、都市近郊に位置することから自然とのふれあいの場として親しまれています。阪神大震災の影響による地盤沈下により干潟が縮小し、鳥類の採餌場としての環境が悪化していました。そのため環境省は餌場としての干潟再生事業を平成22年から実施してきました。

平成30年9月からは武庫川で掘削した土砂を投入する工事を行ってきました。予定では3月までに61,000m³を投入することになっていましたが、台風21号の影響で工事変更を余儀なくされ、保護区東側に41,000m³の土砂を投入して12月末干潟の造成を終えました。



2月27日に行われた保護区保全事業検討会では、委員から、砂ばかりで単調すぎる、多様な生物が棲むように小石を入れたり岩場をつくるべきとか、現状の潮だまりや滞筋を生かしていくなどの意見が出ました。今後も環境省による水質、地形、生物相などの現地調査が続けられ、どのような干潟を作っていくか、シギ、チドリの餌資源と採餌場所を確保するために、地域住民との連携が求められています。

日本自然保護大賞 2019

沼田眞賞を受賞

自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した、個人・団体などを表彰する「日本自然保護大賞」に応募し、「自然保護に尽力された沼田眞博士の志を未来に伝えていくにふさわしい活動」として、沼田眞賞をいただくことになりました。



授賞式および記念シンポジウムは3月30日（土）東京の国際文化会館で行われます。

冬の鳥観察会

2月11日午前10時から、講師に杉田義彦さんを迎えてカモ類やカモメの観察会。あいにくの冷たい雨でしたが、人がいないのでヒドリガモが砂浜を歩いてなにやら食べているのを見ることができました

岩の上で同じ方向を向いているユリカモメ、その周りにはシックな美しさのオカヨシガモ。他にヒドリガモ、ハシビロガモ、コガモ、ウミアイサ、ハジロカイツブリ、ホシハジロ300、スズガモ200、オナガガモ、セグロカモメ、ホオジロガモ雄1羽だけとミサゴなどでした。



いいもの見つけ



タマゴフタツクラゲモドキ

2017年12月、西宮市貝類館のセミナーに参加したときのことです。

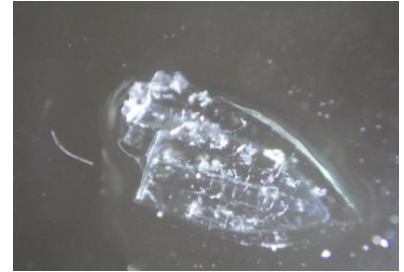
貝類館学芸員の渡部哲也氏が、「夜の干潮時、甲子園浜にヨコエビの採集に来た。そのとき容器の中に不思議な生き物がいた。それはタマゴフタツクラゲモドキでした。10mm くらいの小さなクラゲです」と、スクリーンに写真を映し出し紹介された。小さなクラゲは青緑に輝いているところがある珍しいものだった。

小さいクラゲといえばシミコクラゲしか知らなかったもので、私も見たい、観たい！

深夜でなくても明るい時間帯でもいるのではないかと想像して甲子園浜に通った。3日目の夕方、風もなく海は穏やかで水中がよく見えた。手にはヒシヤクを持ち、腰を折り、海中を凝視していると、キラリと輝く10mm くらいのクラゲを見つけた。慎重にすくい上げ覗くと、それはタマゴフタツクラゲモドキであった。最終的には、10 個体採集できた。感動的な出会いだった。

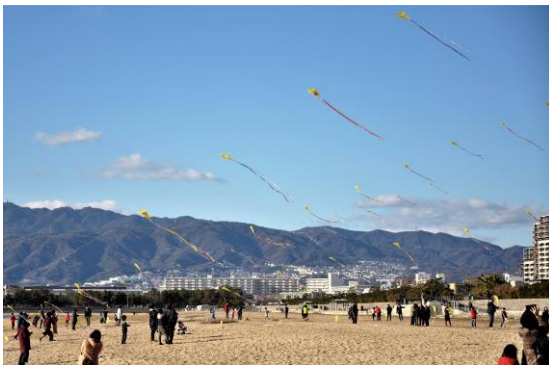
2019年1月、タマゴフタツクラゲモドキは甲子園浜へ再びやって来てくれた。

向山裕子



活動報告

1月13日 連凧あげ大会 86名



1月18日 ベイコム 甲子園浜紹介放映

2月9日 さくらFM な・ば・なネットワーク放送

2月11日 冬の鳥観察会 27名

2月20日 EWC 展出展

2月25日 ハマアザミ移植。

台風21号で埋もれて

しまったハマアザミ。

種子を採取して鉢で育て

ていたものを移植しました。



2月27日 浜甲子園鳥獣保護区保全事業検討会

3月9日 第15回大阪湾フォーラムで活動発表
(浜寺公園にて)



活動予定

3月30日(土) 日本自然保護大賞授賞式及び活動発表

3月31日(日) 海浜清掃

4月1日~5月31日 浜甲子園鳥獣保護区立入り禁止

5月6日 通常総会、シギチドリ観察会

5月19日(日) 甲子園浜の歴史を学んで海の遺跡を探
検しよう

6月2日(日) 第12回大阪湾生き物一斉調査

NPO ニュースは年4回発行しています。

ニュースへのご意見ご投稿をお待ちして
います。

編集：岸川